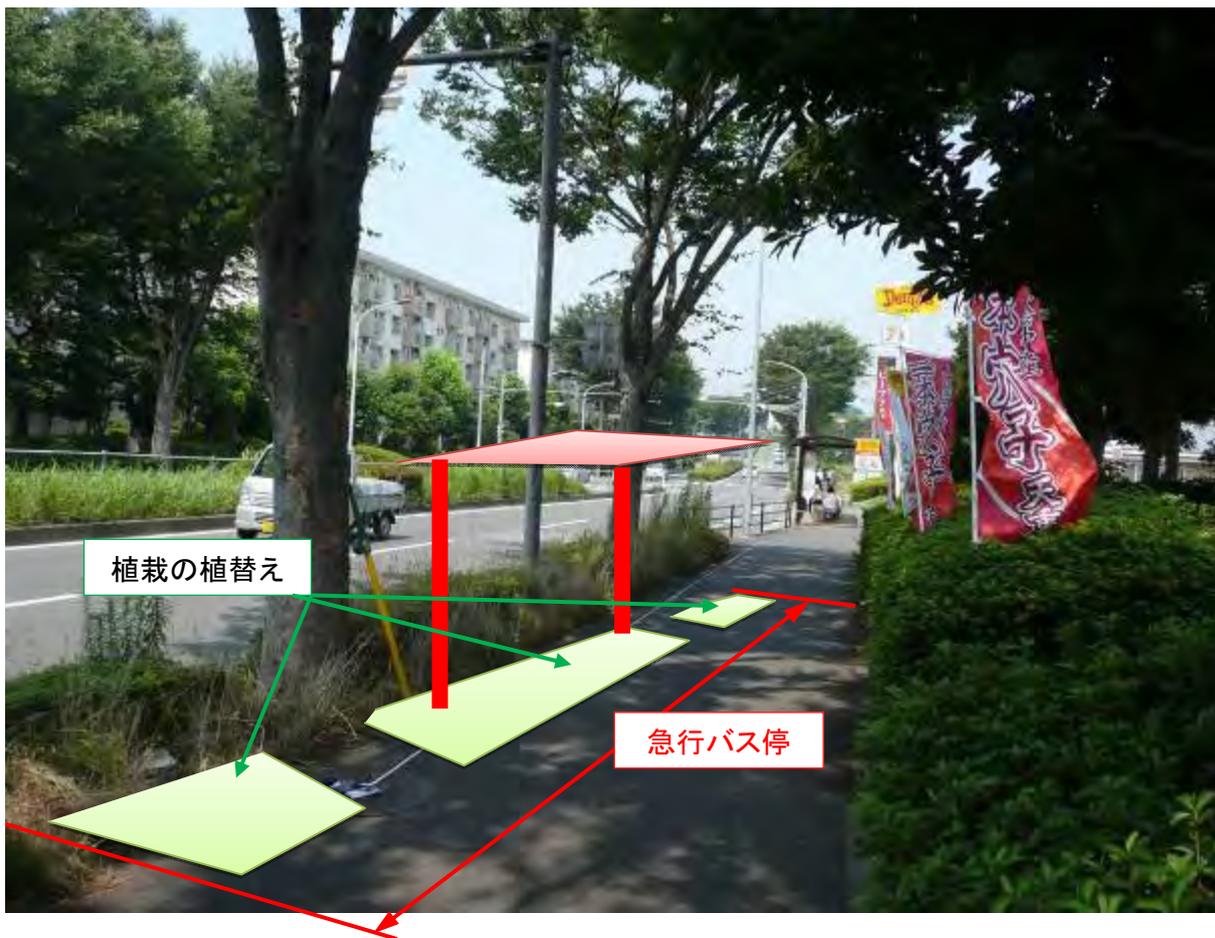
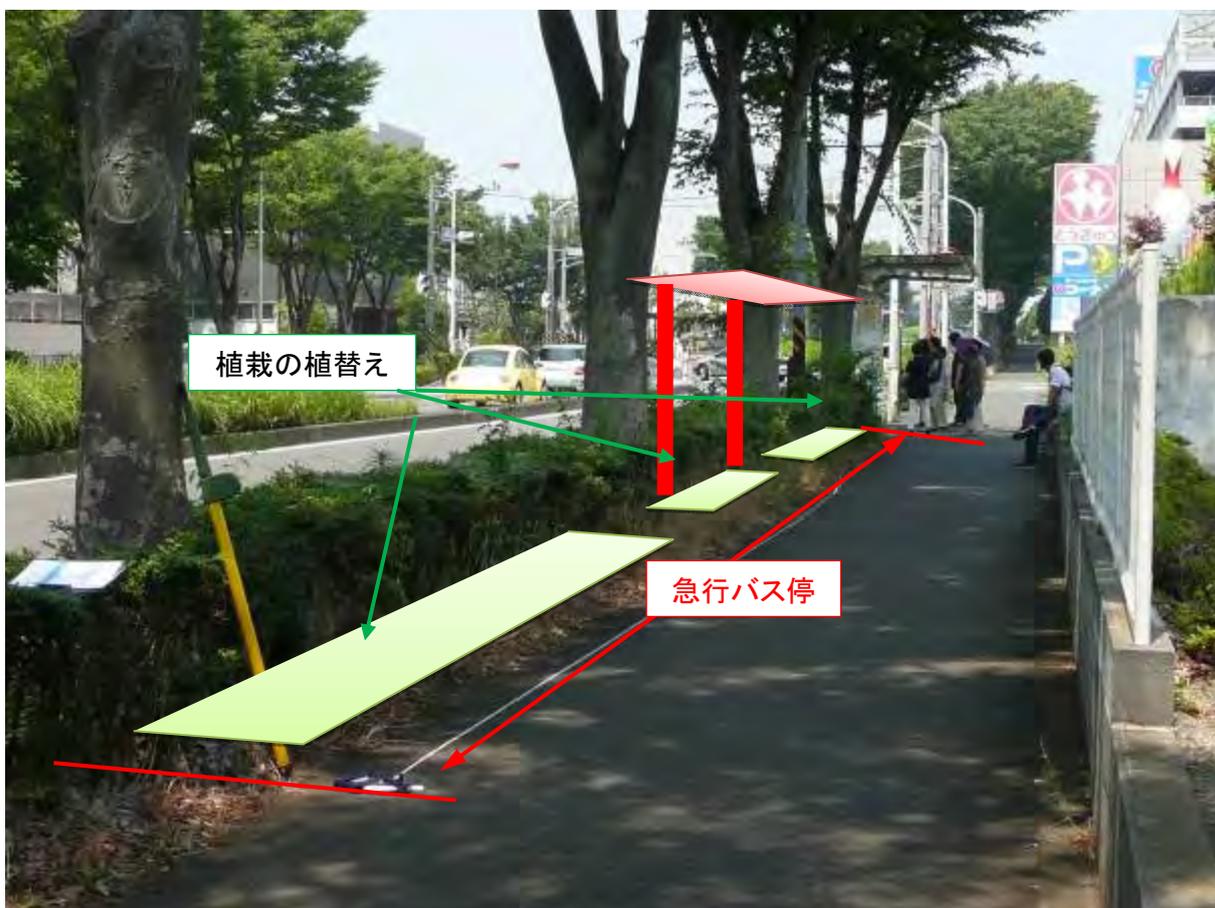


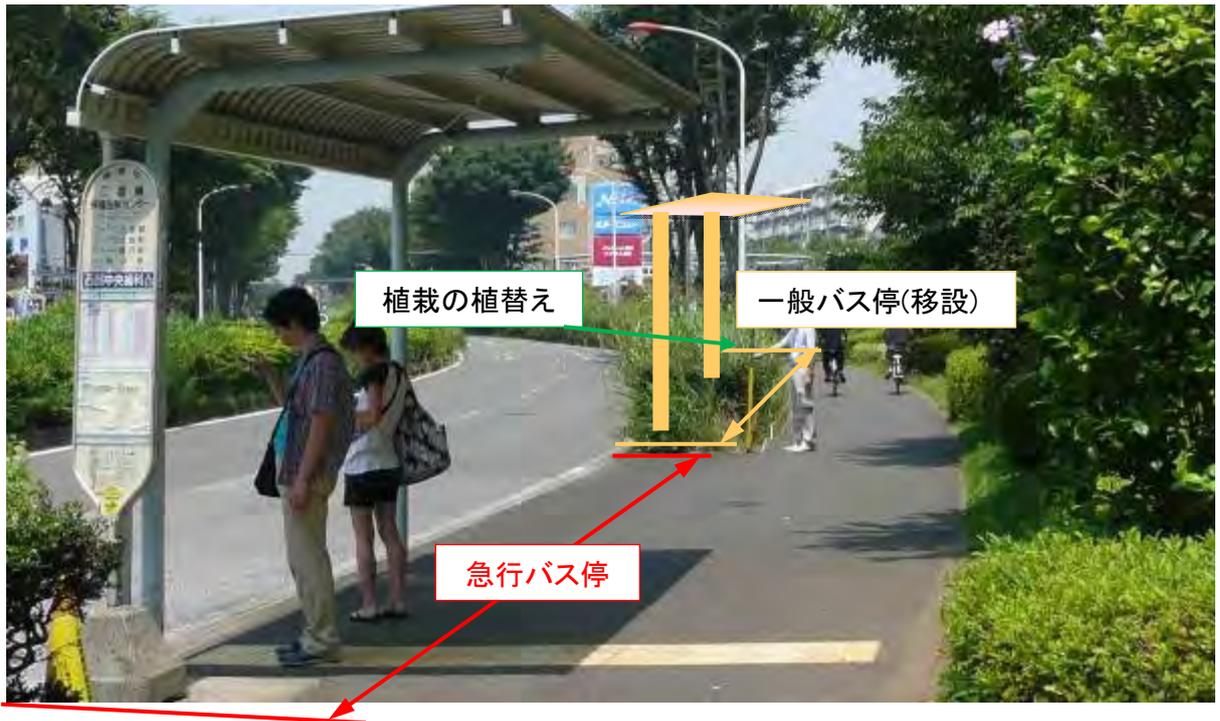
1) 滝の沢 (辻堂方面行き)



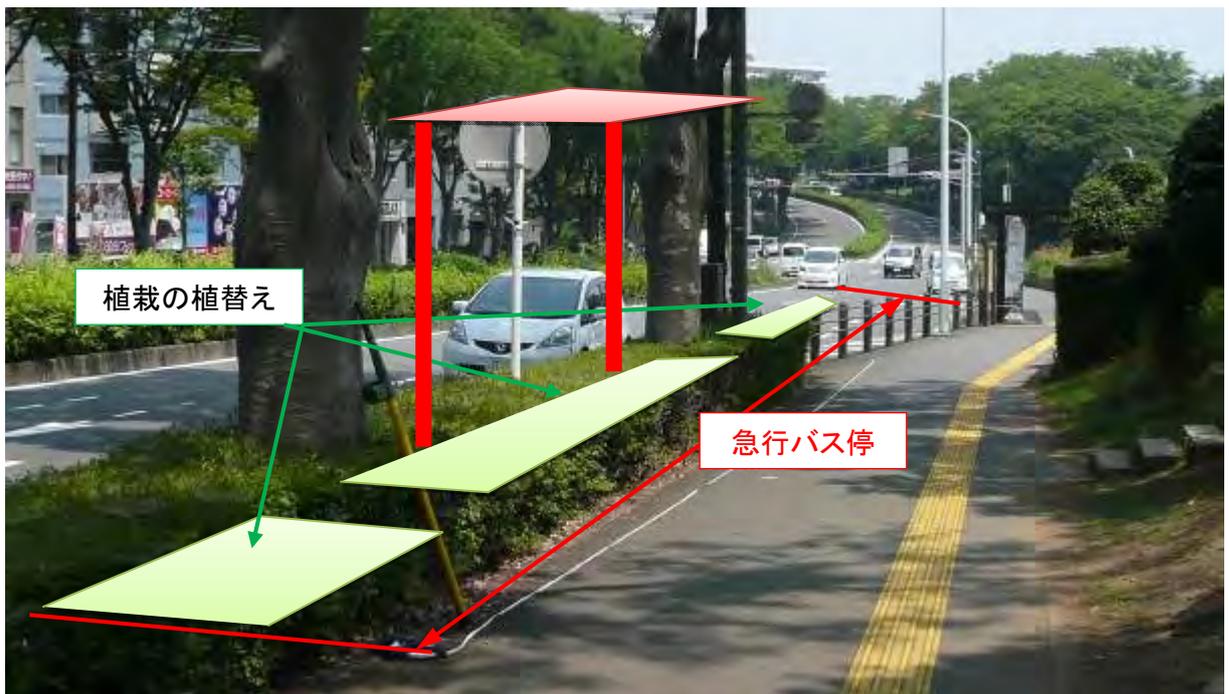
2) 駒寄 (辻堂方面行き)



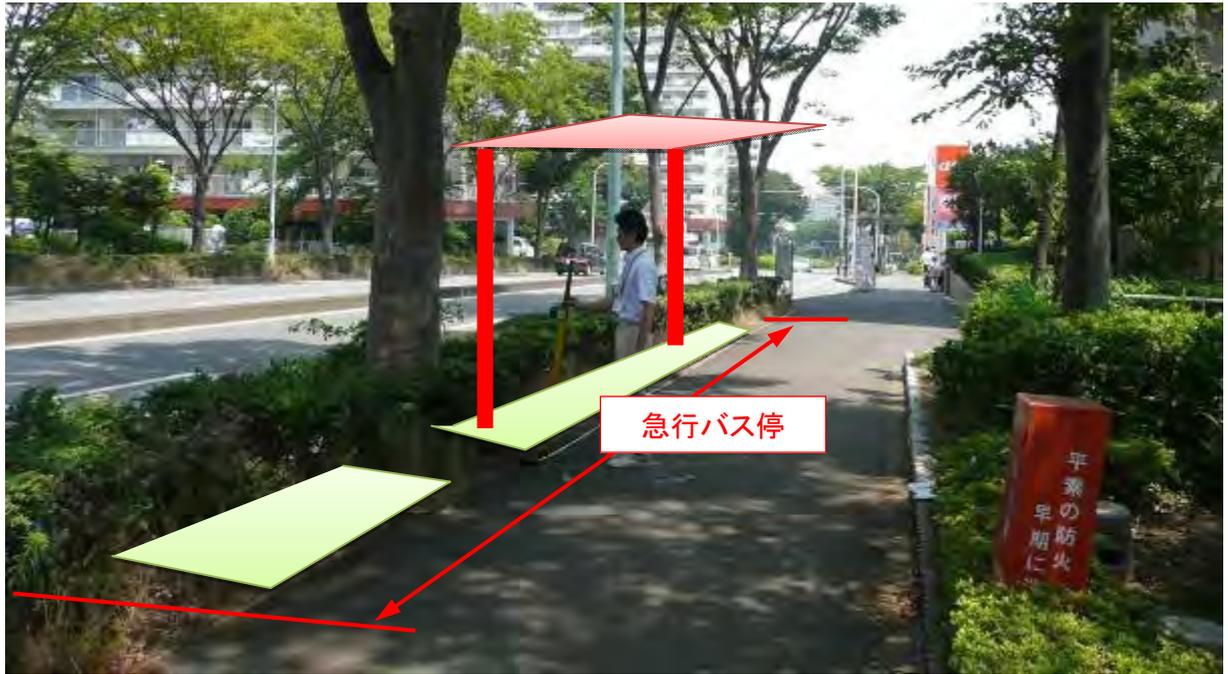
3) 二番構保健医療センター（辻堂方面行き）



4) ライフタウン中央バス停



5) 南センター前（辻堂方面行き）



③定時性・速達性の向上（バス専用レーン）

バス専用レーンの効果は、道路渋滞、一般車両の流入の影響を受けることなくバスが通行できることが最大のメリットとして考えられます。

町田市市の事例を見ると、バス専用レーンにある路線エリア内では、町田駅前通り（約500m）がバス専用レーン（9:00～23:00 平日、祝祭日含む）となっています。

辻堂駅遠藤線の国道1号交差点以北は、現在、バス優先レーンとして運用されていますが、辻堂駅北口周辺の混雑によるバスの遅れの影響から、[辻堂駅周辺を含めたバス専用レーンの効果について検討](#)する必要があります。辻堂駅周辺の問題については、バス専用レーンを整備すると、一般車の走行空間が減少することから、自動車交通への影響が生じます。ソフト施策も含めた一体的な対応を長期的に進める必要があります。



図-16 バス専用レーン（町田市）

④運行情報案内（バス接近情報）の検討

一般的なバス接近情報案内の表示は、次にバス停に到着する便等の情報をバス停に表示します。



図-17 バス情報案内システム（西東京バス・東武バス）

【写真右：沖電気ホームページ】

⑤連節バス導入による輸送能力の改善と混雑緩和

連節バスは一便あたりの輸送力が通常のバスの2倍程度あるため運行本数を少なくしても輸送力を維持することが可能になることから、バス輸送の定時性・速達性の向上、輸送の平準化(団子運転の解消)を図るために、大きな効果を発揮すると考えられます。

町田市事例を見ると、連節バス導入によって、輸送力は変えないまま、通常のバスの6便分を軽減して、バス輸送定時性、速達性などの向上を図っていることが分かります。

([導入区間]山崎団地センター～町田バスセンター間に連節バスを4台導入)

[導入前]運行本数(7時台)： 30便、輸送力30便分

[導入後]運行本数(7時台)： 24便、輸送力30便分※

差 △ 6便、 0便分

※連節バスは、通常バス2台分で算定

⑥乗車方法の変更による乗降時間短縮（中乗り・前降り方式）

乗車方法については、バス利用者を「中ドアから乗車、前ドアから降車」とする中乗り・前降り方式を用いることで、バス利用者の乗降時間の短縮が図られ、目的地までの到着時間の短縮効果が期待されます。

途中の停留所での乗降客が多い路線ほど、乗降時間に要する時間が長く、この効果が得られると考えられます。

実際に採用している地域では、バス利用者からも「(乗る際に)降りる客を待たなくなり、イライラしなくなった」「(乗る際に)降りる方とのトラブルの心配が無くなった」など、好意的なご意見が出ていると聞いています。

藤沢市域でも、事業者のシステムの変更および走行環境の整備を進める等、全市的な導入に向けて取組みを進めています。

⑦休日の辻堂駅周辺の交通渋滞対策

休日の商業施設利用等で混雑する辻堂駅周辺の交通渋滞対策として、信号現示の改良や隔地駐車場の確保、公共交通の利用促進や誘導員の配置、バス経路の見直しなどにより、交通渋滞の状況を改善し、バスの定時性の確保を図ります。

⑧湘南ライフタウンターミナル整備

湘南ライフタウンターミナルの整備により、ターミナルを起点とした地域内系統の新設による不便地区の解消や、周辺地域路線の集約による運行の効率化を図ります。

⑨湘南台駅東口の運用改善（周辺道路利用の改善・PTPSの増設）

湘南台駅西口ロータリーへバス路線が集中する傾向にあり、朝夕の便数が多い時間帯には、ロータリー内の混雑のため、定時性・速達性への影響が懸念されます。

このため、湘南台駅西口に集中する一部の路線を湘南台駅東口に変更し、湘南台駅のロータリーの効率的な運用を実施し、ロータリー内の混雑解消を図り、バスの速達性向上を図ります。

また、区間距離が伸びるデメリットをPTPS（公共車両優先システム）設置区間を増やす等の速達性に資する施策を実施し、速達性が損なわれない対策を検討します。

【参考】PTPS

1) 実施路線

- ・ 辻堂駅遠藤線（平成11年度）

制御区間：辻堂駅北口～湘南ライフタウン L = 5.3 km

制御時間：平日7時～9時

- ・ 高倉遠藤線（平成13年度～）

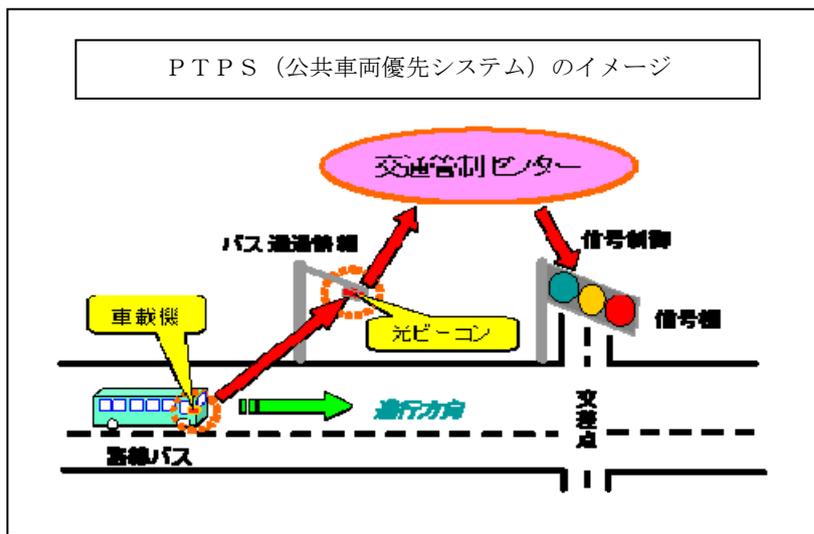
制御区間：湘南台駅西口～慶応大学 L = 3.9 km

制御時間：バス運行時間

- ・ 亀井野二本松線（平成13年度～）

制御区間：湘南台駅西口～湘南ライフタウン L = 4.4 km

制御時間：バス運行時間



⑩その他景観等への配慮

バス輸送の高度化にあたり、景観や地域のシンボル性に配慮したものとすることで、地域住民に親しまれる持続可能な交通システムの実現をめざします。

景観等への配慮の視点

- ・シンボル性の高い車両の導入
- ・景観に配慮したバス停上屋の検討
- ・景観に配慮したバス周辺施設 等



図-18 景観に配慮した海外のバス輸送施設

【出典：新潟市ホームページ】



図-19 統一感のあるサイン（電停とバス停）

【出典：熊本市ホームページ】

2) 幹線(辻堂駅遠藤線)から離れた地域の公共交通の充実

幹線から離れた地域の公共交通の拡充を進めるためには、定時性・速達性の改善・輸送の効率化を積上げて発生した余力を割当てることができることとなります。

このため、各施策の展開によって発生した、人的・物理的・時間的な余力をこれまで公共交通が充実していなかった地域に振分けることによって達成されるものです。

また、湘南大庭地区周辺は、土地区画整理事業による都市基盤整備が行なわれたことから、市内でも道路インフラの整備水準が高くなっています。バス路線を支える道路としては、概ね6m以上の幅員をもつ道路が対象となると考えられますので、この充実した道路インフラを生かした様々なルートを検討して行くことが可能となっています。

公共交通のサービス圏域状況や人口密度の状況などを重ねあわせながら、公共交通充実策を検討して行きたいと考えています。

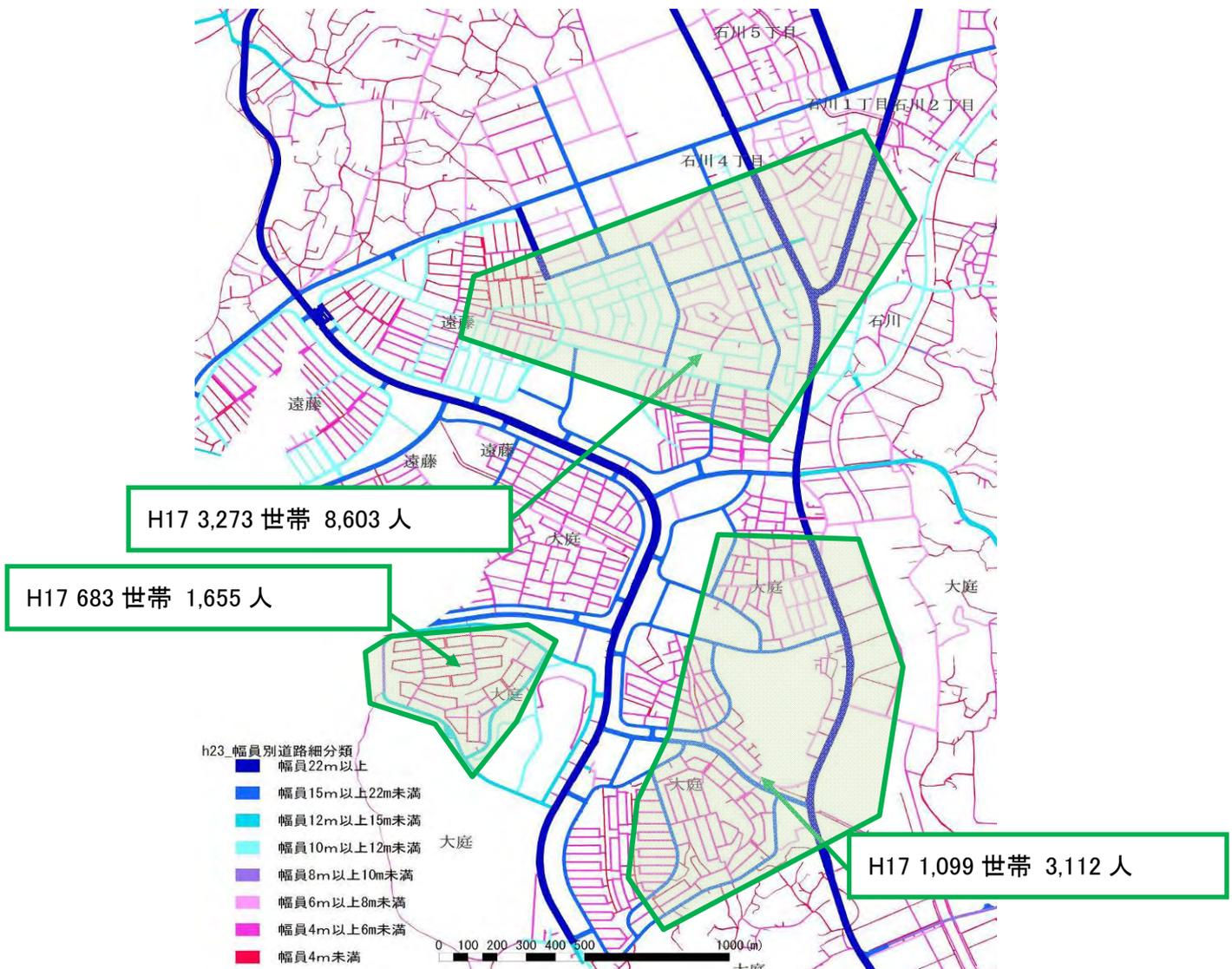


図-20 湘南大庭地区周辺の道路インフラ状況

地域内交通の拡充により高齢者を含む
交通弱者に利用しやすい公共交通の拡充を図ります

3) 公共交通を補完する環境配慮型地域内モビリティシステムの検討

バス等の公共交通網でカバーすることが難しい地域内移動の需要が確認されています。例えば子育て世代では、保育園への送迎と通勤、周辺施設での買い物等、子供をつれての地域内移動と通勤のための地域外への移動が複雑で公共交通でカバーすることが難しいと考えられます。

このため、公共交通の利用につながる地域内の移動を支える基盤整備、システムの導入について検証することが必要と考えられることから、次のような施策について導入の可能性を検証します。

- ・地域内のモビリティ確保と公共交通との乗継利便性を確保するため、パーク&バスライド、サイクル&バスライド施策の検討
- ・地域内を移動するシステムの導入の可能性についての検討



図-22 サイクル&バスライド自転車駐車場設置状況

公共交通の利用につながる地域内の移動を支える基盤整備、システムの導入により、高齢者を含む交通弱者に利用しやすい公共交通の拡充を図ります

4) 市民ワークショップの実施

ワークショップは、現在、当該地域に発生している交通的な課題の解決、及び中短期的に超高齢化等で顕在化する交通問題の抑制に向けて実施を計画しているものです。ワークショップの結果を受けて、当該地区の交通課題の解決に資する施策の実現を住民の合意形成のもとに進める予定です。



① ワークショップの目的

地域の交通に関する現状を認識したうえで、湘南大庭地区でのバス輸送の高度化について具体的な方針を示したうえで、地域としての検討や取り組みの方向性の合意形成を行うことを目的として進めます。

② ワークショップの進め方（本年度は3回程度の実施を想定）

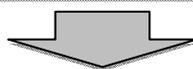
～第1回：課題と目的意識の共有～

①課題意識・目的意識の共有

- ☞湘南大庭地区における交通問題を確認し、課題意識の共有を行います。
- ☞ワークショップ開催や検討の目的といった、目的意識の共有を図ります。

②課題解決に向けた取り組みの方向性の意見交換（意見抽出）

- ☞湘南大庭地区で公共交通の果たすべき役割や、改善の取り組みによって期待される機能、さらには取り組みの方向性について参加者の意見交換を行います。



～第2回：地域の分析や解決の方向性の検討～

③課題解決に向けた取り組みの方向性の意見交換（意見整理）

- ☞地域を分析するために必要な材料や検討の考え方の参考となる資料を提供し、課題解決方法を整理、とりまとめます。

④公共交通の導入パターンの整理

- ☞湘南大庭地区の交通課題に対する取り組みの方向性に対して、地域に適した公共交通の導入パターンを整理しながら、意見交換を行います。



～第3回：方向性のとりまとめ～

⑤公共交通の導入パターンや取り組み方法の決定

- ☞公共交通施策のとりまとめ報告を行います。（バス輸送の高度化や地域内の公共交通等拡充の視点について整理します。）

■ 実施主体

- ・都市計画課
- ・湘南大庭市民センター

■ 協力団体

- ・郷土づくり推進会議 等

■ 実施主体の役割

- ① ワークショップの進行（都市計画課、市民センター）
- ② ワークショップ運営の事前調整（都市計画課、市民センター）
- ③ 地域住民の募集（都市計画課、市民センター）
- ④ 資料の準備作成（都市計画課）

※ このほか、学識経験者及び専門コンサルタントを交えてワークショップを適切に進めます。

■ 参加者

公募・推薦の地域住民

③ 第1回ワークショップの内容(案)

1) 主旨

- ・湘南大庭地区の現状、過年度の検討経緯の説明
- ・ワークショップの進め方や、議論する内容の確認
- ・バス輸送の高度化、地域の公共交通に関する意見交換

2) 進め方

□湘南大庭地区の現状、過年度の検討経緯の説明（20分ほど）

- ・少子高齢化の進展、人口のサイクルが止まっている点などを説明
- ・過年度での公共交通に関する検討内容、調査報告書などを説明
- ・これらの課題を解決するために、都市交通関連では基幹となる交通の導入や地域内の交通手段を確保することが重要という事務局の認識を説明

□学識経験者等による講演（20分ほど）

- ・交通の諸問題や動向等のご紹介
- ・湘南大庭地区における公共交通の課題や取り組みのポイント
- ・ワークショップの進め方についてのアドバイス

□意見交換1（20分ほど）

- ・上記をもとに、今年度のワークショップではバス交通の高度化を図るための具体内容について議論を行っていき、並行して実施する具体検討の結果をもとに方針について合意形成を行っていくことを確認
- ・また、バス交通の高度化にあわせて地域内の交通手段の確保の方策について意見交換を行っていくことを確認

□意見交換2（30分ほど）

- ・バス交通の高度化、地域内の交通手段の確保に関する意見交換を行います。

→第二回へ・・・

4. 中長期的な展開に向けて

LRTなどの新たな交通システムの導入については、[慶応大学湘南藤沢キャンパス周辺のまちづくりといずみ野線延伸](#)に伴う交通需要が見込めるようになった段階で検討して行く考えとしています。

このため、まずは、既設バス路線の高度化について、湘南大庭全体の交通利便性向上に向けた取組みを進めていきます。その後、いずみ野線延伸と周辺のまちづくりの進展を見ながら、市の財政負担を考慮しつつ、中長期の展開としてLRTなど新たな公共交通システムの導入を検討して行くことを想定しています。

参考として、バス輸送の高度化（BRT化）を進めている他市における交通システムの評価事例を以下に示します。

【参考】BRTとLRT導入を比較した事例

| | | BRT | LRT |
|--|------------|---|---|
| 車両の特徴 | | <ul style="list-style-type: none"> ●2両連結の連節バス(ノンステップ) ●低床車両による段差のない乗降 ●ゴムタイヤ | <ul style="list-style-type: none"> ●2両編成車両(ノンステップ) ●低床車両による段差のない乗降 ●鉄輪 ●音や振動の小さな構造 |
| | |  <ul style="list-style-type: none"> ○幅 : 約2.5m ○全長 : 約18m ○高さ : 約3m |  <ul style="list-style-type: none"> ○幅 : 約2.5m ○全長 : 約18m ○高さ : 約3.5m |
| 乗車人数 ^{(*)1} | | 約 115人 | 約 120人 |
| 表定速度 ^{(*)2} | | 20km/h | 20km/h |
| 輸送力 ^{(*)3} | | 3,450人/時・片側 | 3,600人/時・片側 |
| 走行空間 | | 道路上に専用走行空間を確保(一般の車線も走行可能) | 道路上に専用走行空間として線路を敷設 |
| 導入空間 | 必要幅員 | 単路部: 約20m以上 駅部 : 約25m以上 ^{(*)4} | 単路部: 約21m以上 駅部 : 約24m以上 ^{(*)4} |
| | 自動車交通への影響 | ●概ね2車線分を使用するため、自動車交通への影響が大きい | |
| | その他 | | |
| 停留所間隔 | | 500m | 500m |
| その他交通との連携 | | <ul style="list-style-type: none"> ●交通結節点の整備が必要 ●郊外バス路線の専用走行空間の乗り入れが可能 | ●交通結節点の整備が必要 |
| まちづくりと景観 | | <ul style="list-style-type: none"> ●地上を走行するため乗降しやすく、ルートや停留所の設定の自由度が高く柔軟性がある ●スマートな車体や停留所がまちの景観要素になりうる | <ul style="list-style-type: none"> ●地上を走行するため、乗降がしやすい ●軌道があることで路線の存在がわかりやすい ●架線レスに関する開発も進んでいるが、現時点では架線を道路上空に設置する必要がある ●スマートな車体や停留所がまちの景観要素になりうる |
| 概算事業費 | 区間A(約10km) | [初期投資費(建設費・車両費等)] おおよそ70億円 | [初期投資費(建設費・車両費等)] おおよそ280億円 |
| | 全区間(約20km) | [初期投資費(建設費・車両費等)] おおよそ110億円 | [初期投資費(建設費・車両費等)] おおよそ520億円 |
| ※概算事業費については他事例をもとに新潟市の特徴を考慮したうえで試算しているが、新堀駅前や河川断面、地下埋設物移設等についてルート・導入空間によって大きく変わるため、検討中 | | | |
| 環境負荷 | | <ul style="list-style-type: none"> ●内燃機関による駆動のためCO₂を排出するが、ハイブリットや電気自動車などの開発が進んでおり、CO₂削減の可能性あり ●自動車からの転換により環境負荷が軽減される | <ul style="list-style-type: none"> ●電気(モーター)による駆動のため車両からCO₂が発生しない ●自動車からの転換により環境負荷が軽減される |
| 人キロ当たりの二酸化炭素排出量 ^{(*)6} (参考)自家用乗用車: 173 g-CO ₂ /人キロ | | ●51g-CO ₂ /人キロ(路線バス) | ●36g-CO ₂ /人キロ(路面電車) |
| 耐候性(積雪・降雪時) | | <ul style="list-style-type: none"> ●雪用タイヤを使用する ●除雪等によって対応 | ●除雪等によって対応(寒冷地での導入実績あり) |
| その他 | | ●建設期間が短く、整備が容易 | ●建設期間が短く、整備が比較的容易 中規模工事となる |

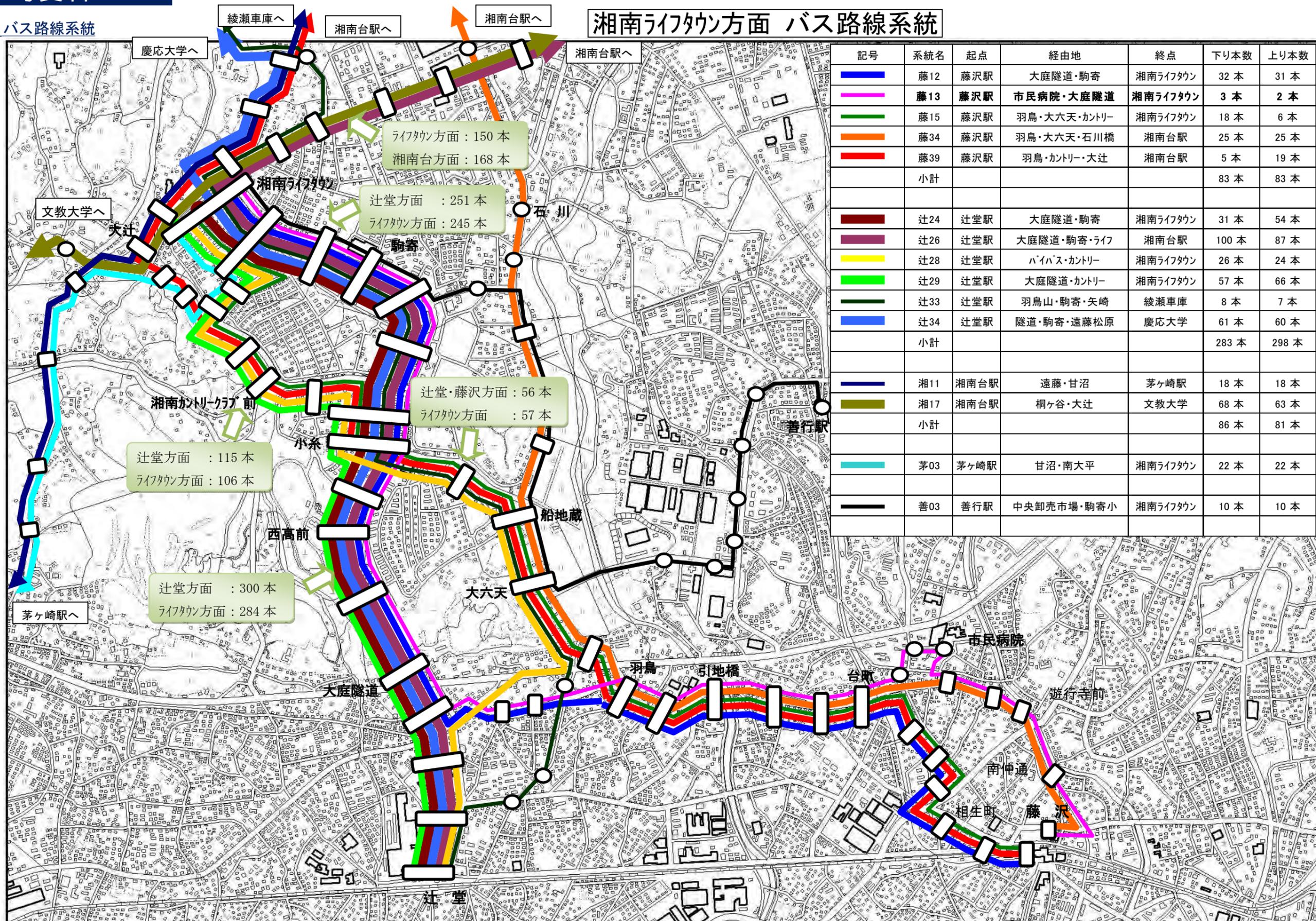
※この事例では、事業費の多くが大規模な橋梁などの建設が占められています。

【出典：新潟市新たな交通システムパンフレット（2010）】

5 参考資料

(1) バス路線系統

湘南ライフタウン方面 バス路線系統



| 記号 | 系統名 | 起点 | 経由地 | 終点 | 下り本数 | 上り本数 |
|---|-----|------|--------------|----------|------|------|
| ■ | 藤12 | 藤沢駅 | 大庭隧道・駒寄 | 湘南ライフタウン | 32本 | 31本 |
| ■ | 藤13 | 藤沢駅 | 市民病院・大庭隧道 | 湘南ライフタウン | 3本 | 2本 |
| ■ | 藤15 | 藤沢駅 | 羽鳥・大六天・カントリー | 湘南ライフタウン | 18本 | 6本 |
| ■ | 藤34 | 藤沢駅 | 羽鳥・大六天・石川橋 | 湘南台駅 | 25本 | 25本 |
| ■ | 藤39 | 藤沢駅 | 羽鳥・カントリー・大辻 | 湘南台駅 | 5本 | 19本 |
| | 小計 | | | | 83本 | 83本 |
| ■ | 辻24 | 辻堂駅 | 大庭隧道・駒寄 | 湘南ライフタウン | 31本 | 54本 |
| ■ | 辻26 | 辻堂駅 | 大庭隧道・駒寄・ライフ | 湘南台駅 | 100本 | 87本 |
| ■ | 辻28 | 辻堂駅 | バイパス・カントリー | 湘南ライフタウン | 26本 | 24本 |
| ■ | 辻29 | 辻堂駅 | 大庭隧道・カントリー | 湘南ライフタウン | 57本 | 66本 |
| ■ | 辻33 | 辻堂駅 | 羽鳥山・駒寄・矢崎 | 綾瀬車庫 | 8本 | 7本 |
| ■ | 辻34 | 辻堂駅 | 隧道・駒寄・遠藤松原 | 慶応大学 | 61本 | 60本 |
| | 小計 | | | | 283本 | 298本 |
| ■ | 湘11 | 湘南台駅 | 遠藤・甘沼 | 茅ヶ崎駅 | 18本 | 18本 |
| ■ | 湘17 | 湘南台駅 | 桐ヶ谷・大辻 | 文教大学 | 68本 | 63本 |
| | 小計 | | | | 86本 | 81本 |
| ■ | 茅03 | 茅ヶ崎駅 | 甘沼・南大平 | 湘南ライフタウン | 22本 | 22本 |
| ■ | 善03 | 善行駅 | 中央卸売市場・駒寄小 | 湘南ライフタウン | 10本 | 10本 |

(2) 保育園アンケート書式

保育園利用者通勤 調査総括表

2012年7月

| | | ①(世帯主) | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ | ⑦ |
|--------------------------|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 家族構成について | A 家族の構成 ・ふだん住んでいる人をもれなく書いてください ・「1の配偶者」は「世帯主の配偶者」をさします | ① 世帯主 ② ①の配偶者 ③ 子 ④ ①・②の父母 ⑤ その他 | ① 世帯主 ② ①の配偶者 ③ 子 ④ ①・②の父母 ⑤ その他 | ① 世帯主 ② ①の配偶者 ③ 子 ④ ①・②の父母 ⑤ その他 | ① 世帯主 ② ①の配偶者 ③ 子 ④ ①・②の父母 ⑤ その他 | ① 世帯主 ② ①の配偶者 ③ 子 ④ ①・②の父母 ⑤ その他 | ① 世帯主 ② ①の配偶者 ③ 子 ④ ①・②の父母 ⑤ その他 | ① 世帯主 ② ①の配偶者 ③ 子 ④ ①・②の父母 ⑤ その他 |
| | B 性別 | ① 男 ② 女 | ① 男 ② 女 | ① 男 ② 女 | ① 男 ② 女 | ① 男 ② 女 | ① 男 ② 女 | ① 男 ② 女 |
| | C 出生年 | ____年 ____月 ____日 | ____年 ____月 ____日 | ____年 ____月 ____日 | ____年 ____月 ____日 | ____年 ____月 ____日 | ____年 ____月 ____日 | ____年 ____月 ____日 |
| 住宅について | D 居住地について ・「大庭」「遠藤」などの字名まで書いてください | 神奈川県 _____ 市・区・町 _____ 大字・町・丁目 _____ | | | | | | |
| | E 住居の種類 | ① 持家 ② 県・市・町営の賃貸住宅 ③ UR都市再生機構 公社等の賃貸住宅 ④ 民営の賃貸住宅 ⑤ その他 _____ | | | | | | |
| | F 住宅の建て方 | ① 一戸建 ② 長屋建 (テラスハウスを含む) ③ 共同住宅 (アパート・マンション等) ④ その他 _____ | | | | | | |
| これ以降は、世帯主と世帯主の配偶者にお聞きします | | ①世帯主 | | | ②世帯主の配偶者 | | | |
| 世帯主と世帯主の配偶者の仕事について | G 2012年6月の仕事、通学の状況 ・仕事には、家業手伝い、パート・アルバイトを含めます | ① 主に仕事 ② 家事などのほか仕事 ③ 予備校・専門学校を含む通学のかたわら仕事 ④ 予備校・専門学校を含む通学 ⑤ 家事 ⑥ その他 (_____) | | | ① 主に仕事 ② 家事などのほか仕事 ③ 予備校・専門学校を含む通学のかたわら仕事 ④ 予備校・専門学校を含む通学 ⑤ 家事 ⑥ その他 (_____) | | | |
| | H 勤めか自営かの別 ・臨時雇には、パート・アルバイト雇用を含みます | ① 常雇 ② 臨時雇 ③ 会社などの役員 ④ 自営業主 ⑤ 家業の手伝い ⑥ 家庭内の賃仕事(内職) ⑦ その他 (_____) | | | ① 常雇 ② 臨時雇 ③ 会社などの役員 ④ 自営業主 ⑤ 家業の手伝い ⑥ 家庭内の賃仕事(内職) ⑦ その他 (_____) | | | |
| | I 仕事の内容 ・1は、製造・建築・土木・情報通信技術者や医師・看護師、金融専門職、教員、美術家など。 2は、法人、団体の役員・管理職などになります | ① 専門的・技術的職業従事者 ② 管理的職業従事者 ③ 事務従事者 ④ 販売従事者 ⑤ サービス職業従事者 ⑥ 保安職業従事者 ⑦ 農林漁業作業 ⑧ 運輸・通信従事者 ⑨ 生産工程・労務作業 仕事の分類がわからない場合、こちらに仕事内容を記入ください [_____] | | | ① 専門的・技術的職業従事者 ② 管理的職業従事者 ③ 事務従事者 ④ 販売従事者 ⑤ サービス職業従事者 ⑥ 保安職業従事者 ⑦ 農林漁業作業 ⑧ 運輸・通信従事者 ⑨ 生産工程・労務作業 仕事の分類がわからない場合、こちらに仕事内容を記入ください [_____] | | | |
| | J 勤務地・通学地 ・仕事も通学もしている人は、勤務地を記入します | ① 自宅 ② 自宅以外(下欄に所在地を記入) 都道府県 _____ 市区町村 _____ 大字町丁目 _____ | | | ① 自宅 ② 自宅以外(下欄に所在地を記入) 都道府県 _____ 市区町村 _____ 大字町丁目 _____ | | | |
| | K 現在の住宅にはいつから居住していますか | ① 1年未満 ② 1年～2年未満 ③ 2年～3年未満 ④ 3年～5年未満 ⑤ 5年～10年未満 ⑥ 10年以上 | | | ① 1年未満 ② 1年～2年未満 ③ 2年～3年未満 ④ 3年～5年未満 ⑤ 5年～10年未満 ⑥ 10年以上 | | | |
| | L 現在の住宅に移転した要因はなんですか、二つ選んでください | ① 結婚 ② 離婚・死別 ③ 転職 ④ 転勤 ⑤ 配偶者の仕事の関係 ⑥ 子の誕生 ⑦ 住宅環境改善 ⑧ その他 (_____) | | | ① 結婚 ② 離婚・死別 ③ 転職 ④ 転勤 ⑤ 配偶者の仕事の関係 ⑥ 子の誕生 ⑦ 住宅環境改善 ⑧ その他 (_____) | | | |
| 世帯主と世帯主の配偶者の意識調査 | M 今後住宅を選ぶとしたら重視したいキーワードを二つ選んでください | ① 学校などの子育て環境 ② 公園・みどりの住環境 ③ 鉄道駅への近接性 ④ 買い物等の生活環境 ⑤ 住宅の広さや品質 ⑥ その他 (_____) | | | ① 学校などの子育て環境 ② 公園・みどりの住環境 ③ 鉄道駅への近接性 ④ 買い物等の生活環境 ⑤ 住宅の広さや品質 ⑥ その他 (_____) | | | |
| | N 現在の仕事はいつから就業していますか | ① 現在の住宅に住む前から今の仕事に就いている ② 転居により退職し、一定期間後再度仕事に従事した ③ 現在の住宅に移転するのに合わせて転職した | | | ① 現在の住宅に住む前から今の仕事に就いている ② 転居により退職し、一定期間後再度仕事に従事した ③ 現在の住宅に移転するのに合わせて転職した | | | |
| | O Nで1を選んだ方は、住宅選びに通勤時間は考慮しましたか | ① 30分以内で探した ② 1時間以内で探した ③ 1時間半以内で探した ④ 2時間以内で探した ⑤ 特に考慮しなかった ⑥ その他 (_____) | | | ① 30分以内で探した ② 1時間以内で探した ③ 1時間半以内で探した ④ 2時間以内で探した ⑤ 特に考慮しなかった ⑥ その他 (_____) | | | |
| | P Nで2・3を選んだ方は、現在の住宅への「移転」と「転職」との関係をお答えください(複数回答可) | ① 転居に関係なく、以前から転職を考えていた ② 転居で勤務地が遠くなり、通勤できなくなった ③ 生活も変化し、フルタイムからパートタイムに形態を変えた ④ 通勤可能であれば、できれば勤務を継続したかった ⑤ その他 (_____) | | | ① 転居に関係なく、以前から転職を考えていた ② 転居で勤務地が遠くなり、通勤できなくなった ③ 生活も変化し、フルタイムからパートタイムに形態を変えた ④ 通勤可能であれば、できれば勤務を継続したかった ⑤ その他 (_____) | | | |

通勤(往路)調査票

→の順に①から⑤までお進みください

| | | | |
|------|------------------------------|-------|---|
| 自宅 | <input type="checkbox"/> 大庭 | 職場所在地 | 都 |
| | <input type="checkbox"/> 遠藤 | | 道 |
| 出発時間 | <input type="checkbox"/> 石川 | 府 | 県 |
| 時 分 | <input type="checkbox"/> その他 | 市 | 区 |
| | | 町 | 村 |

通常の出発時間と自宅所在地を記入ください

| | |
|------|------|
| 保育園 | |
| 到着時間 | 出発時間 |
| 時 分 | 時 分 |

通常の時間を記入ください

通常の到着時間と職場の所在地を記入ください

① 保育園には誰が送りますか

父親
 母親
 祖父母
 親類
 その他
 具体的に記入ください
 ()

② 保育園までの交通手段は何を使いますか

徒歩のみ
 自転車
 バイク
 自家用車
 バス
 その他
 具体的に記入ください
 ()

③ 保育園からは、何の交通手段を使いますか

徒歩のみ
 自転車
 バイク
 自家用車
 バス
 その他
 具体的に記入ください
 ()

④ 保育園からどこへ向かいますか

直接職場へ
 JR 辻堂駅
 湘南台駅
 JR 藤沢駅
 その他の駅
 駅名をご記入ください
 ()
 一旦自宅へ
 その他
 具体的に記入ください
 ()

⑤ 自宅やその他の場所から職場までは、何の交通手段を使いますか

徒歩のみ
 自転車
 バイク
 自家用車
 バス
 鉄道
 その他
 具体的に記入ください
 ()

記入要領

① 送迎を夫婦が曜日等で分担している場合は、「父親」「母親」双方にチェックしてください。その場合の職場への経路は、おもに送迎を行っている方の経路をご記入ください。

② 保育園までの交通手段は、「自転車」と「バス」など複数利用している場合は、利用したすべての交通手段にチェックしてください。

③ 保育園を出発して鉄道駅や直接職場へ向かう際の交通手段にチェックしてください。複数交通手段を利用している場合は、利用したすべての交通手段にチェックしてください

④ 保育園からまずはどこへ向かうか、鉄道駅へ向かう方はそれぞれ該当する駅名をチェックしてください。一旦帰宅してから通勤する場合は、「一旦自宅へ」をチェックして⑤に進んでください。

⑤ 「一旦自宅へ」や「その他」を選んだ方が記入してください。「自宅」や「その他」で記入した場所から職場まで行くのに利用したすべての交通手段にチェックしてください。

- ・自宅の出発時刻や保育園、職場の到着時刻は、平日通常の時間を記入ください。(例：17時15分)
- ・「自宅」所在地は該当する大字名にチェックしてください
- ・職場の所在地は、市区町村名まで記入ください(例：東京都 港区)
- ・交通手段の「バイク」は、原動機付自転車を含むオートバイです

記入例

- ・ボックスにチェックを記入します
- ・その他には、具体的に記入します

自転車
 その他
 具体的に記入ください
 (母親の友人)
 バス

| | |
|---------|--|
| 自宅 | <input checked="" type="checkbox"/> 大庭 |
| | <input type="checkbox"/> 遠藤 |
| 出発時間 | <input type="checkbox"/> 石川 |
| 7 時 5 分 | <input type="checkbox"/> その他 |

通勤(復路)調査票

→の順に①から⑤までお進みください

| | | | | | |
|----|---------------|-------------|--------------------|-------------|-------------------|
| 自宅 | 職場所在地 都道府県 | | | | |
| 職場 | 市区町村 | 出発時間 時 分 | 保育園 到着時間 時 分 | 出発時間 時 分 | 自宅 到着時間 時 分 |

職場を起点とする場合には残業のない通常の退社時間を記入ください
 通常の時間を記入ください
 通常の帰宅時間を記入ください

① 保育園には誰が迎えに行きますか

② 出発点から次の目的地までは何の交通手段を使いますか

③ 保育園に向かうまでに経由地がありますか

⑤ 保育園から自宅までは、何の交通手段を使いますか

④ 自宅や立ち寄り場所から保育園までは何の交通手段を使いますか

記入例

・チェックと具体的な記入をお願いします

鉄道

最初に乗車する駅名を記入ください

駅名: JR品川駅

その他

具体的に記入ください
スーパー(マーケット)

到着時間
17時 50分

- 記入要領**
- ① 送迎を夫婦が曜日等で分担している場合は、「父親」「母親」双方にチェックしてください。その場合の保育園への経路は、送迎を多く行っている方としてください。
 - ② 退社時間(自宅出発時間)は、残業などのない平常時の時間を記入ください。また、退社後(出発後)次の目的地までの交通手段をすべてチェックしてください。鉄道を利用するときは、最初に乗車する駅名を記入してください。
 - ③ 退社後(自宅出発後)に向かう目的地をご記入ください。保育園にお迎えに行く方は、「直接保育園へ」をチェック。一度自宅に寄ってから、保育園に迎えに行く方は、「帰宅後に保育園へ」をチェックし、自宅に着いた時間を記入ください。買い物等に立ち寄る場合は、「その他」を選択し、「〇〇スーパー」や「〇〇商店街」などを記入し、立ち寄る場所への到着時間を記入してください。
 - ④ 自宅や買い物で立ち寄った場合、そこから保育園への交通手段をすべてチェックしてください。
 - ⑤ 保育園への到着時刻、出発時刻を記入して、保育園から自宅に帰るまでに利用したすべての交通手段にチェックしてください。

こちらについてもご回答下さい

交通の現況調査票

以下の通勤に関する質問について、該当するもの全てにチェックを入れてください。往路・復路で人が異なる場合には往路を記載して下さい。

| | |
|---|--|
| <input type="checkbox"/> バスは時間通り正確なので問題なく利用している | <input type="checkbox"/> バスは遅れても本数があるので問題なく利用している |
| <input type="checkbox"/> バスの遅れを考慮して利用している | <input type="checkbox"/> バイク・自転車が便利なので、バスは雨のときだけ利用している |
| <input type="checkbox"/> バスは本数が少ないので利用しない | <input type="checkbox"/> バスは混雑するので利用しない |
| <input type="checkbox"/> 自家用車の使用以外考えない | <input type="checkbox"/> バスは遅れるので利用しない |
| <input type="checkbox"/> その他() | |